昭和枯れすすき（1975）

メディア 映画
ジャンル ドラマ　サスペンス
製作国 日本
色彩 Color
時間 87分
初公開日 1975/06/07
公開情報 松竹

【解説】
結城昌治の『やくざな妹』を新藤兼人が脚色し「砂の器」の野村芳太郎が監督。川又昂のキャメラが当時の繁華街やアパート群を活写していて、効果を上げている。
刑事の原田には、洋裁学校に通っている妹の典子がいる。二人は青森を遠く離れ、十二年前から東京で二人暮らしをしていた。原田はある日、典子がチンピラの吉浦と付き合っていることを知る。妹本人に問い詰めると、彼女はすでに洋裁学校を辞めていて、今はスナックで働いているという。その吉浦の死体が発見され、現場には典子のネックレスが落ちていたのが見つかる。原田は必死に捜査を続けるが、妹との間の亀裂が徐々に大きくなっていくのを感じていた。

【クレジット】
監督 野村芳太郎
製作 杉崎重美
原作 結城昌治
脚本 新藤兼人
撮影 川又昂
美術 森田郷平
編集 太田和夫
音楽 菅野光亮
助監督 三村晴彦
出演 高橋英樹
秋吉久美子
池波志乃
伊佐山ひろ子
鈴木瑞穂
松橋登
下条アトム　Atom Shimojo
稲葉義男

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.